

一、(ワルソー)ポーランドは獨逸との國境線を確保する爲本日總動員令を下した。これについてポーランド政府スポークスマンは最近國境地帯に於ける新なる事件並に獨逸側のポーランド領事檢舉事件を述べ事態の悪化に備ふる爲であると語つてゐる。

二、(パリイ)フランス政府は昨日より全放送局の放送プログラム並に新聞ニュースは、一切政府の監督の下に、置く旨發表した。

三、(東京)日本天皇陛下は本日阿部大將の内閣總理大臣親任式を行はせられた。阿部大將は外相をも兼任、陸軍大臣には元侍從武官長畑大將、海軍大臣には聯合艦隊司令長官吉田中將、大藏大臣には青木企畫院總裁、拓相には金光氏が決定した。阿部新内閣總理大臣は今日政府の方針を發表する筈であるが日本國民新聞は次の様に述べてゐる。

新内閣は自主的外交方針を確立し支那事變處理に全力を盡すべきで獨ソ不可侵條約成立後の對英關係を如何に處理して行くかが問題である。

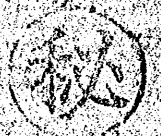
一、(ロンドン)チエンパレン首相は本日目下の事態では病人其の他の不具者を安全地帯へ運搬する必要はないと言明した。

内閣情報部九・一 情報第四號

重慶ロイテル新聞電報放送(八月二十六日) (朝鮮總督府遞信局轉取)

支那政府の要人達は現下の歐洲情勢殊に戦争が歐洲に勃發した場合に支那政府として採るべき立場について意見を交換してゐる。支那政府の方針について質問した支那官邊は依然「批評せざる」態度を續けてゐる。獨ソ不可侵條約の締結によつて事態は著るしく紛糾してゐる。從來英佛ソは獨伊日側に於ける侵略に抗して明かに平和戰線を結成してゐた。支那にとつて問題は單純だつたのである。支那官邊、新聞、公衆は等しく公然と民主國群に同情を示してゐた。事實歐洲に戦争が起つた場合支那は英佛ソ側につくことを宣言するだらうと迄仄かされてゐたのである。ロシアが突然ドイツに不侵略條約を締結したことによつて情勢は全く一變してゐる。英佛は概して支那に好意を寄せ財政問題、クレヂット、物資供給につき重慶政府に多大の援助と便宜を與へ、英佛領土を通じて物資を輸送した。同時にロシアは實際箇々の國々が行つた對支援助に比較すれば恐らく一層大規模なる援助を支那の抗戰に寄せてゐるのである。事態は支那政府にとつて最も微妙、困難となつてゐる。之に關する支那政府の決定を知ることは最も興味あることである。確認なき報道によれば昨日支那政府首腦者の非公式會議で決定が爲されたといはれるが、消息通筋はその報道を

疑つてゐるやうである。支那政府は支那の將來に直接影響すること疑ひないが、かかる重要問題の決定には時日をかけて慎重を期するであらうといふのが一般の見解である。この假説に基づき大多數の觀測者は支那政府が現在「形勢觀望」方針を採つてゐると意見を述べてゐる。情勢は殊に中國共產黨の立場に關して興味津々たるものがある。中國共產黨はドイツとヒットラーを非難する點に於ては最も痛烈にして忌諱するところなかつたし、支那政府がドイツとの友好關係を持続することさへ非難してゐたのである。モスコウの豹變は中國共產黨を最も困難なる地位に置いてゐる。そして多くはモスコウの行動が中國共產黨の將來を「抹殺」するものと信じてゐる。



内閣情報部九・一 情報第五號

重慶UP新聞電報放送（八月二十六日）

（朝鮮總督府通信局採取）

「漢口ヘラルド」はアメリカの通商條約廢棄と獨ソ不侵略條約締結の「致命的打撃」につゞく日本外交政策の將來を分析し世界は少なからざる關心を以て如何に日本がその極東政策を再修正するかを見守つてゐる。日本の行手には三つの途が開かれてゐるやうである、(一)ソ聯との不侵略條約交渉(二)東京・ベルリン・ローマ樞軸の防共を反英に變型すること(三)英米との修交回復。情勢が示してゐる如く(一)は殆んど有り得ないことの様であり、(二)、(三)の可能性は將來とならなければ分らない。第三國の協力を要請した山田中支日本軍最高指揮官の會見談を指標とするならば(二)の考を日本側は抱いてゐる様である。もとより日本が如何なる新政策を採用するにしても、それが侵略戰の埒をあかさす方法に向ひられることは疑ひない。しかしかかる目的を實現するチャンスは全く薄くなつてゐる」と。尙近衛が汪精衛に關する日本派閥間の紛争を鎮靜するため興亞院の頭首になるかも知れぬといふ日本側報道を指摘し、「たとへ離が傀儡政權の首腦となつても支那民衆の支持を得ることは出来ない、支那民衆が蔣介石と國民政府の背後に團結してゐる以上戦争は續くだらう、そして戦争が續く限り第三國は自國の極東權益を害することに日本と協力しはしないだらうから日本は全く孤立無援となるであらう」と述べてゐる。